

# 12/19 原発の運転再開に反対する政府交渉

【日時】 2011年12月19日(月) 13:30 ~ 17:00

【場所】 衆議院第一議員会館  
多目的ホール

(13:00よりロビーにて通行証を配布します)

【資料代】 500円

(遠方からの参加者へのカンパ歓迎)



【プログラム】 政府交渉からUstream中継あり  
13:30 ~ 14:30 事前の打合わせと院内集会(市民と議員)  
14:30 ~ 16:00 政府交渉  
(原子力安全・保安院 / 原子力安全委員会の出席を要請)  
16:00 ~ 16:30 記者会見  
16:30 ~ 17時すぎ 交渉を踏まえて今後の活動について議論(市民と議員)

事前に提出している質問・要請書はこちら

[http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/shitsumonyouseisho\\_20111212.pdf](http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/shitsumonyouseisho_20111212.pdf)

質問・要請書の共同提出団体を募集しています。17日(土)までに [mihama@jca.apc.org](mailto:mihama@jca.apc.org) まで連絡をお願いします。

・国会に設置された事故調査委員会の調査・検証を重視すること

・福島事故の実態・原因の解明を優先し、運転再開の手続きを停止すること

政府は、大飯原発3号などの運転再開に向けた動きを加速させています。来年1月下旬頃にIAEA調査団が来日して、原子力安全・保安院や安全委員会によるストレステスト評価について検討し、その後、地元了解を得てから、総理大臣など4大臣が運転再開の判断を下すと報じられています。早ければ2月頃に運転再開を狙っています。

他方、国会では、12月に事故調査委員会が設置され、半年後を目処に報告書が作成されます。福島事故の実態や原因の解明はまだこれからです。私たちは、政府が進める早期の運転再開に強い危惧を抱いています。

10月7日の政府交渉につづき、再度、福島事故の実態の把握についてどのような考えで進められているのか、とりわけ、津波の前に地震により配管が破損した可能性が強まっていることについて、原子力安全・保安院等の見解を確認する交渉です。ぜひ参加ください。

【主催】 国際環境NGO FoE Japan / 国際環境NGOグリーンピース・ジャパン / 福島老朽原発を考える会(フクロウの会) / グリーン・アクション / 美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会(美浜の会)

【協力】 eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会) / 福島原発事故緊急会議

【連絡先】 美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会(06-6367-6580) [mihama@jca.apc.org](mailto:mihama@jca.apc.org)

国際環境NGO FoE Japan(03-6907-7217) [finance@foejapan.org](mailto:finance@foejapan.org)